

# Web における検索・情報交換システムの構築

## - アミューズメントパークを例として -

985191 森下 慶一

(指導教員 速水 治夫 教授)

### 1. まえがき

ここ数年、インターネットの急速な普及により、Web を通して今までとは違う形で情報を得ることが出来るようになった。本雑誌、新聞、TV、ラジオ等から得ていた情報ではなく、まったく新しい形で映像や音声、文字などの情報をインターネットという形で得ることが出来るようになった。また、携帯電話の機能の追加により Web にアクセス出来るようになったのも、急速な普及につながったと言える。しかし、情報を提供するのには、Web の作成者または管理者が圧倒的に多い。またアクセスしているユーザーが情報を発信、提供する場が少ないのが現状である。

### 2. 本研究の目的

Web を通してユーザー同士が情報交換を行えるような場を提供し、情報交換をリアルタイムで行えるのを目的とした。情報交換の場として BBS と Chat を構築した。また NTT ドコモの i モードの技術に注目し、BBS と Chat に i モードからもアクセスできるシステムである。アミューズメントパークを例に、各アミューズメントパークに関する情報を書き込み、閲覧、会話することにより情報交換を行う。

### 3. システム概要

本システムは、CGI で作成した。アミューズメントパークをデータベースから検索し、BBS と Chat へのリンクに進む。BBS、Chat およびデータベース検索の Web ブラウザーから CGI プログラムの流れは基本的に同じ

である。作成した BBS の Web ブラウザー画面と i モード画面を図 3. 1 とする。



図 3. 1 Web ブラウザー画面、i モード画面

### 4. 評価

本システムを利用し実験を行った。PC ユーザー 1 人と i モードユーザー 2 人に利用していただいた。アミューズメントパークにて i モードの 2 人は主に BBS を利用し、お互いに情報交換しあうことによりアトラクションの混雑状況や飲食店のお勧め料理などうまく情報交換が出来た。また PC ユーザーと i モードの一人は Chat を利用した。結果としてはうまく情報の交換は出来たのだが、文字の入力方法の違いから、i モードにとって長時間の Chat には困難が生じた。BBS における時間差を感じさせない部分では、よりリアルタイムな情報交換が可能である。

### 5. まとめ

情報交換の場を提供し、そこで i モードからでも情報を交換し合えた。しかし、書き込まれた情報の真偽が確かめる方法がないのが現状である。BBS は十分活用できたが、Chat には入力方法など、まだ問題点がある。今後携帯電話の進化に期待したい。